

2015年3月期第4四半期 決算説明資料

米国会計基準 (US GAAP)

野村ホールディングス株式会社

2015年4月

目次

プレゼンテーションの概要

- エグゼクティブ・サマリー(P2-3)
- 2015年3月期決算の概要(P4)
- セグメント情報(P5)
- 営業部門(P6-7)
- アセット・マネジメント部門(P8-9)
- ホールセール部門(P10-12)
- 金融費用以外の費用(P13)
- 強固な財務基盤を維持(P14)
- 資金調達と流動性(P15)

Financial Supplement

- バランス・シート関連データ(P17)
- バリュースコア・リスク(P18)
- 連結決算概要(P19)
- 連結損益(P20)
- 連結決算: 主な収益の内訳(P21)
- 連結決算: セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)(P22)
- セグメント「その他」(P23)
- 営業部門関連データ(P24-28)
- アセット・マネジメント部門関連データ(P29-30)
- ホールセール部門関連データ(P31-32)
- 人員数(P33)

エグゼクティブ・サマリー

2015年3月期通期の決算ハイライト

- **当期純利益¹(2,248億円)は前年比5%増益**
～米国会計基準の適用を開始した2002年3月期以降、2006年3月期²に次ぐ高水準
 - 税前利益は前年比で減少するも、実効税率の低下により当期純利益は増加
 - 利益成長と株主還元の強化を受けてEPS³は前年比8%増加～2016年3月期EPS目標(50円)を2年連続で達成

- 収益:	1兆6,042億円	(前年比:3%増)
- 税前利益:	3,468億円	(前年比:4%減)
- 当期純利益 ¹ :	2,248億円	(前年比:5%増)
- ROE:	8.6%	(前年:8.9%)
- EPS ³ :	60.03円	(前年:55.81円)
- 一株当たり配当金:	期末 13円、年間 19円	(前年比 2円増配)

- **3セグメント合計の税前利益は2,761億円(前年比:17%減)**

営業部門

- 好調だった前年比では減速するも、引き続き、全社利益を牽引
- 顧客資産残高は過去最高の109.5兆円

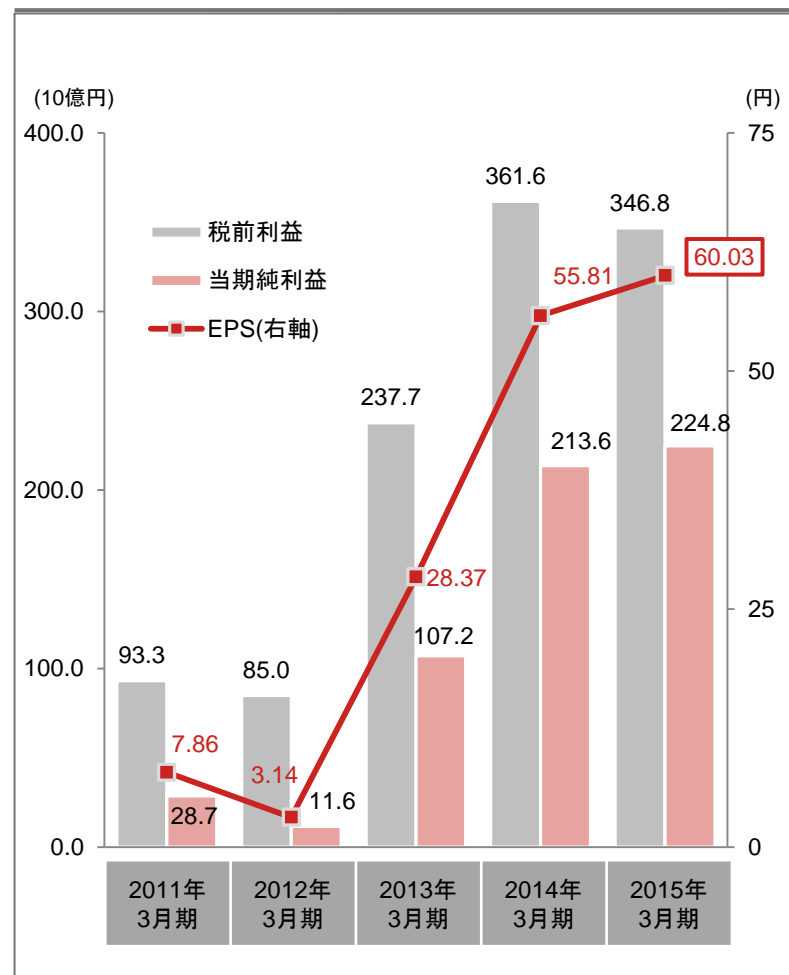
アセット・マネジメント部門

- 税前利益は2008年3月期以降で最大
- 運用資産残高の拡大による収益増に加え、今期連結した台湾子会社も貢献

ホールセール部門

- 好調なアジア収益が欧州・米州の減速を吸収、円安進行もあり増収
- Pay for performanceを徹底したものの円安進行でコストが増加、税前利益は減少

税前利益、当期純利益¹、EPS³の推移



(1) 当社株主に帰属する当期純利益
 (2) 2006年3月期の当社株主に帰属する当期純利益:3,043億円
 (3) 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益

エグゼクティブ・サマリー

2015年3月期第4四半期の決算ハイライト

■ 海外ビジネスの収益性が改善し、全社当期純利益は直近2年間で最大

- 収益: 4,345億円、税前利益: 1,050億円、当期純利益¹: 820億円、ROE²: 12.1%、EPS³: 22.08円

■ 3セグメントの税前利益は1,014億円(前四半期比68%増) ~ホールセール部門が大幅増益

営業部門

- ビジネスモデルの変革に向けた取り組みが着実に進展、2016年3月期のストック収入目標を1年前倒しで達成
- 好調だった前四半期比では株式や債券販売等が減収要因となる一方、コストはシステム除却損等で増加

アセット・マネジメント部門

- 投資信託、投資顧問ともに資金流入し、運用資産残高は過去最大、収益も堅調
- 海外への出資分からの為替差損やシステム除去損など、一過性の費用を計上

ホールセール部門

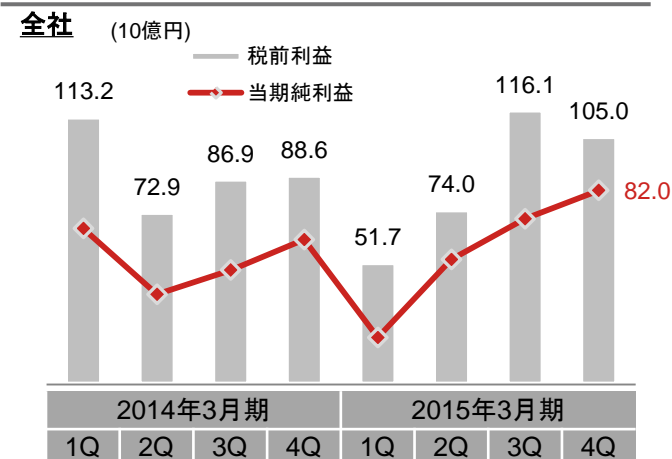
- 全ビジネスラインが増収 ~特に欧州・米州フィクスト・インカムが大幅回復
- コスト増を抑制し、四半期の税前利益としては直近6年間で最大

■ セグメント「その他」は税前損失40億円 ~前四半期(税前利益448億円)から大幅減益

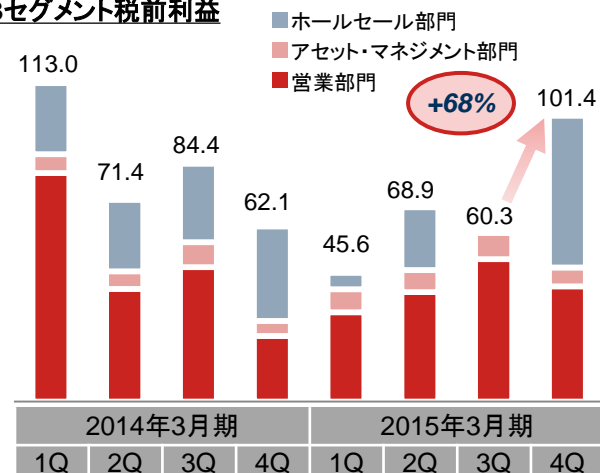
- クレジットスプレッドの変化に起因する損失、関連会社損益や保有有価証券の評価益等が減少

(1) 当社株主に帰属する当期純利益
(2) 各期間の当期純利益を年率換算して算出
(3) 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益

税前利益、当期純利益¹の推移



3セグメント税前利益



2015年3月期決算の概要

決算ハイライト

	2015年3月期 第4四半期	前四半期比	前年 同期比	2015年3月期 通期	前年比
収益合計 (金融費用控除後)	4,345億円	+2%	+11%	1兆6,042億円	+3%
金融費用以外の費用	3,296億円	+7%	+9%	1兆2,574億円	+5%
税前利益	1,050億円	-10%	+19%	3,468億円	-4%
当期純利益 ¹	820億円	+17%	+34%	2,248億円	+5%
EPS ²	22.08円	+18%	+38%	60.03円	+8%
ROE ³	12.1%			8.6%	

(1) 当社株主に帰属する当期純利益
 (2) 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益
 (3) 各期間の当期純利益を年率換算して算出

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

		2015年3月期 第4四半期	前四半期比	前年 同期比	2015年3月期 通期	前年比
収益	営業部門	1,229億円	-5%	+26%	4,765億円	-7%
	アセット・マネジメント部門	239億円	+2%	+17%	924億円	+15%
	ホールセール部門	2,315億円	+29%	+17%	7,899億円	+3%
	3セグメント合計	3,783億円	+14%	+19%	1兆3,587億円	+0.1%
	その他	487億円	-41%	-40%	2,208億円	+17%
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	76億円	-32%	-	247億円	+130%
収益合計(金融費用控除後)		4,345億円	+2%	+11%	1兆6,042億円	+3%
税前利益	営業部門	409億円	-19%	+76%	1,618億円	-16%
	アセット・マネジメント部門	67億円	-29%	+25%	321億円	+18%
	ホールセール部門	538億円	119x	+61%	822億円	-26%
	3セグメント合計	1,014億円	+68%	+63%	2,761億円	-17%
	その他(※)	-40億円	-	-	460億円	+130%
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	76億円	-32%	-	247億円	+130%
税前利益(損失) 合計		1,050億円	-10%	+19%	3,468億円	-4%

(※) 第4四半期の「その他」に関する補足

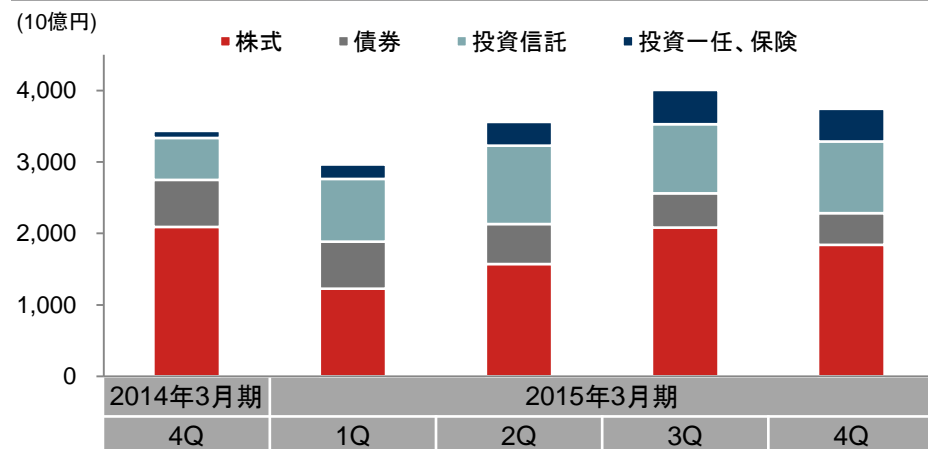
- 関連会社損益の持分額(126億円、第3四半期は182億円)
- 自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する損失(14億円、第3四半期は89億円の利益)
- 足利ホールディングス株式の評価益(22億円、第3四半期は99億円の利益)

営業部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)	通期		四半期						前四 半期比	前年 同期比
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年 3月期 4Q	2015年3月期						
				1Q	2Q	3Q	4Q			
収益合計 (金融費用控除後)	511.9	476.5	97.9	106.9	117.9	128.8	122.9	-5%	+26%	
金融費用以外の費用	319.9	314.7	74.6	75.3	79.1	78.3	82.0	+5%	+10%	
税前利益	192.0	161.8	23.3	31.6	38.9	50.5	40.9	-19%	+76%	

総募集買付額¹



(1) リテールチャネルのみ対象

(2) リテールチャネル、ネット&コール、ほっとダイレクトが対象

決算のポイント

<通期>

- 収益: 4,765億円 (前年比7%減)
- 税前利益: 1,618億円 (前年比16%減)
 - 2002年3月期以降で3番目に高い利益水準~好業績だった前年比では減益
- 市場要因等もあり、顧客資産残高(109.5兆円)は過去最高

<第4四半期>

- 収益: 1,229億円 (前四半期比5%減、前年同期比26%増)
- 税前利益: 409億円 (前四半期比19%減、前年同期比76%増)
 - 株式や債券販売が減少、投信・保険は堅調
 - システム除却損の計上等でコストが増加
- ビジネスモデルの変革に向けた取り組みが着実に進展

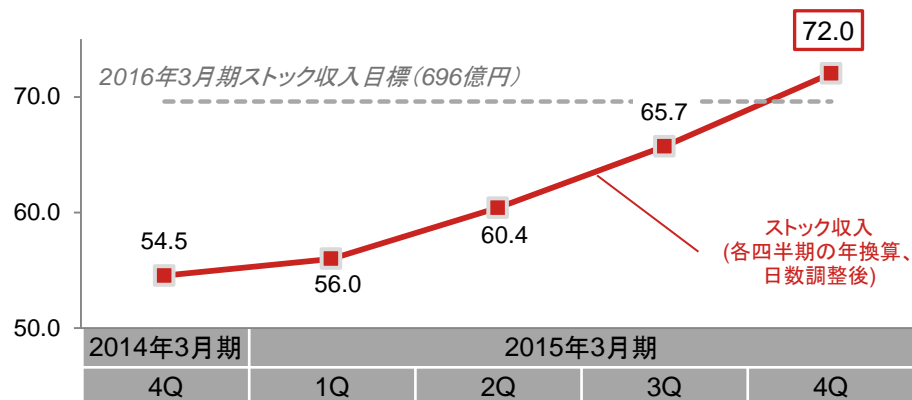
総募集買付額¹は前四半期比7%減

- 株式: 前四半期比12%減
 - 市場出来高やプライマリー案件の減少が影響 (IPO/PO募集額²: 1,084億円、前四半期比50%減)
- 投信: 前四半期比4%増
 - グローバル高配当株やグローバル債券を投資対象とする商品に加え、「日本企業価値向上ファンド」も好調
 - 利益確定の動きがあった前四半期比で、投信純増が回復
- 債券販売額は4,398億円、前四半期比8%減
 - 外債販売は減少~円安や米金利の引上げ議論等を受けて様子見姿勢に
 - 大型リテール向け劣後債が貢献

営業部門: 2016年3月期ストック収入目標を前倒しで達成

ストック収入

(10億円)



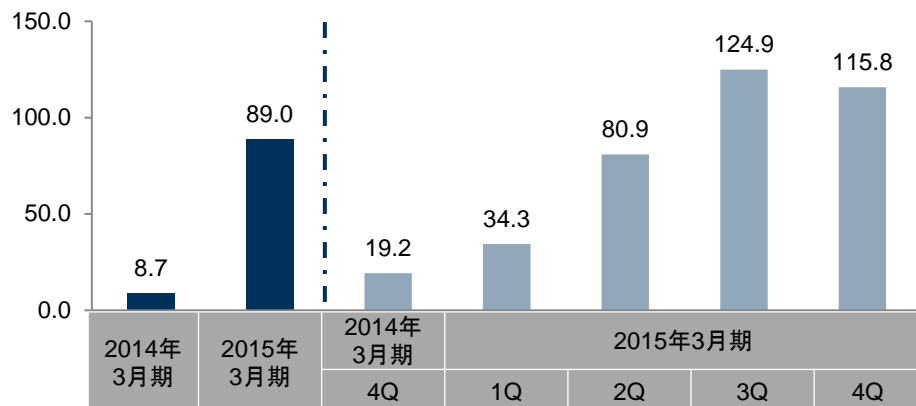
■ 残高拡大に向けた取り組みが奏功し、投信純増¹、投資一任純増¹が拡大
 - 市場要因も追い風となって年換算したストック収入は720億円まで伸長
 ~2016年3月期目標である696億円を1年前倒しで達成

■ ストック収入	178億円	(166億円)
- 投資一任純増 ¹	3,475億円	(3,746億円)
- 投信純増 ¹	1,531億円	(379億円)
■ 保険販売額 ²	1,040億円	(1,011億円)
■ 顧客基盤		
- 顧客資産残高	109.5兆円	(104.8兆円)
- 現金本券差引 ³	-1,373億円	(1,766億円)
- NISA申込口座数	152万口座	(147万口座)

()内は12月末 / 前四半期

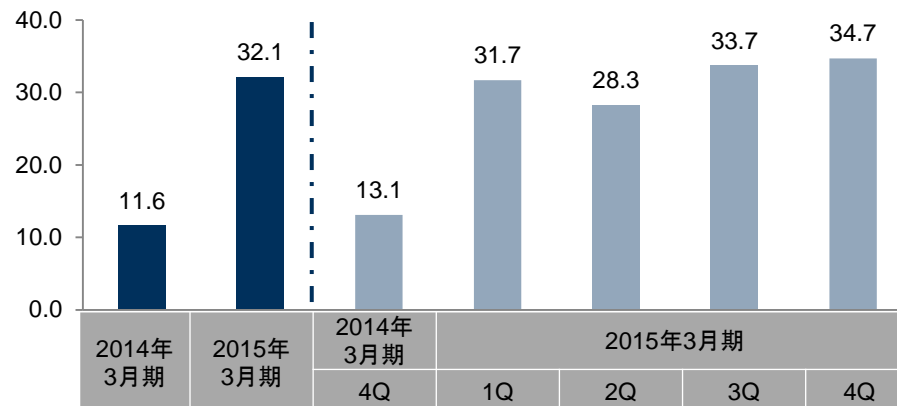
投資一任純増(月平均)¹

(10億円)



保険販売額(月平均)²

(10億円)



(1) リテールチャネル、国内のウェルス・マネジメント・グループが対象

(2) リテールチャネルのみ対象

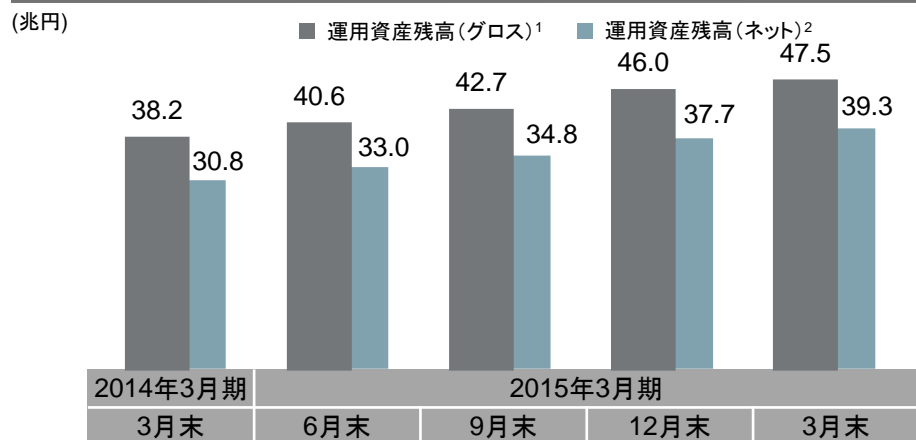
(3) 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引

アセット・マネジメント部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)	通期		四半期						前四 半期比	前年 同期比
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年 3月期 4Q	2015年3月期						
				1Q	2Q	3Q	4Q			
収益合計 (金融費用控除後)	80.5	92.4	20.5	23.3	21.7	23.4	23.9	+2%	+17%	
金融費用以外の費用	53.4	60.3	15.1	15.1	13.9	14.1	17.2	+22%	+14%	
税前利益	27.1	32.1	5.3	8.3	7.8	9.3	6.7	-29%	+25%	

運用資産残高



(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタルの運用資産の単純合計 (2) 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後
(3) 出所: 投資信託協会 (4) Undertakings for Collective Investment in Transferable Securities (UCITS)、欧州委員会指令に定義される譲渡可能証券の集団投資事業のことで、欧州連合における投資信託の統一基準

決算のポイント

<通期>

- 収益: 924億円 (前年比15%増)
- 税前利益: 321億円 (前年比18%増)
 - マーケット環境の改善と資金流入を通じて、運用資産残高が拡大
 - 今期連結した野村アセットマネジメント台湾の寄与もあり、収益は過去最大
 - 公募投信のシェア³が2005年3月期以降で最大

<第4四半期>

- 収益: 239億円 (前四半期比2%増、前年同期比17%増)
- 税前利益: 67億円 (前四半期比29%減、前年同期比25%増)
 - 投資信託、投資顧問とも資金が流入
 - 海外への出資分からの為替差損や、システム除却損など、一過性の費用を計上

投資信託ビジネス

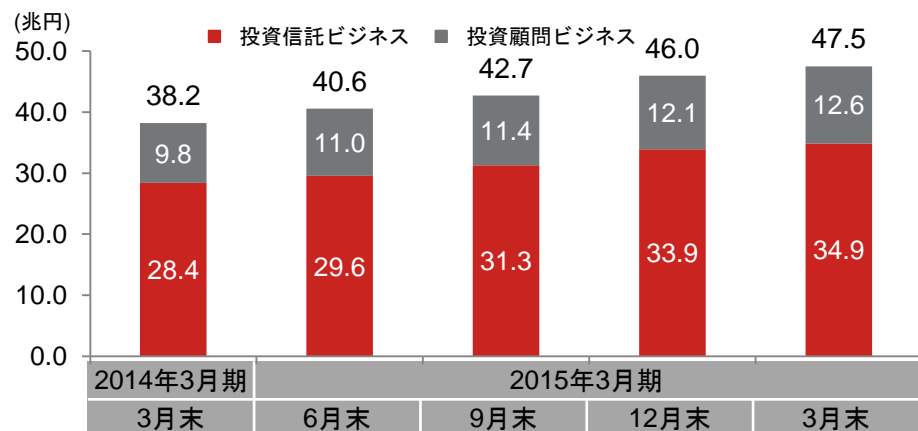
- インカムゲイン等を追求する投信や、投資一任向け投信への資金流入が継続
- 第4四半期資金流入額**
- 野村グローバル高配当株プレミアム: 1,328億円
 - 野村テンプレート・トータル・リターン: 1,239億円
 - 野村ファンドラップ外国債券: 878億円
- 地域金融機関等への私募投信販売が引き続き好調(2014年3月末残高比約2.3倍)

投資顧問及び海外ビジネス

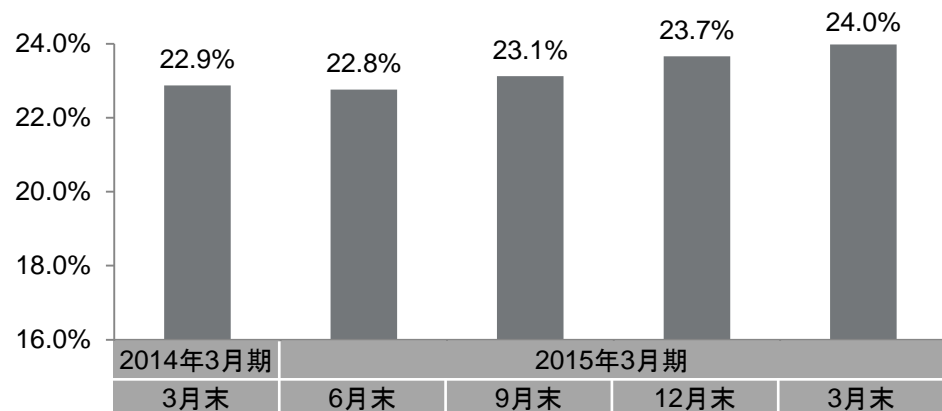
- 国内公的年金の国内株式アクティブ運用を受託
- UCITS⁴ファンドを通じ、海外ビジネスが拡大
 - 新規設定したグローバル債券ファンドが好調
 - 今期末のUCITSファンドの残高は8,569億円、2014年3月末から倍増

アセット・マネジメント部門:運用力への高い評価

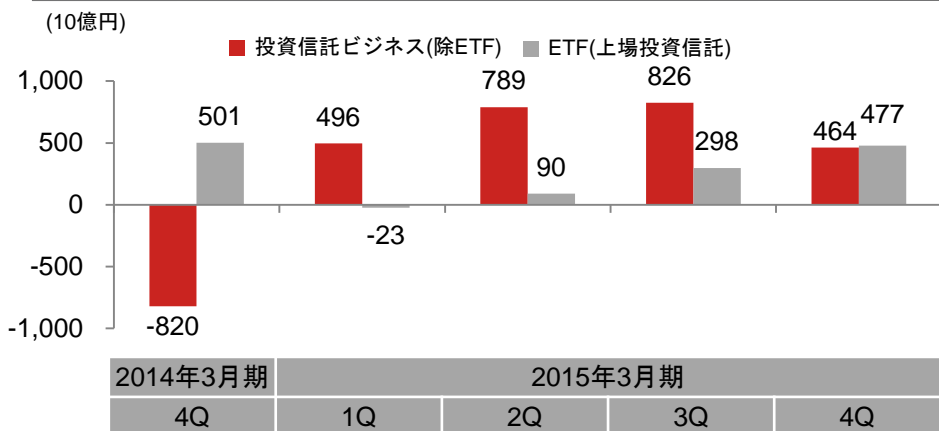
運用資産残高(グロス)¹—ビジネス別



野村アセットマネジメントの公募投信シェア²



投資信託ビジネスの資金流出入³



運用力への高い評価

- モーニングスター:「ファンド オブ ザ イヤー2014」⁴**
 - 最優秀ファンド賞: 高利回り債券型部門
「野村インド債券ファンド(毎月分配型)」
 - 優秀ファンド賞: 国内株式型部門
「ストラテジック・バリュー・オープン『愛称:真価論』」
- トムソン・ロイター:「リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2015」⁵**
 - 確定拠出年金部門: 総合部門、株式部門で最優秀運用会社に選定
 - 投資信託部門で11本、確定拠出年金部門で9本、計20本が最優秀ファンドに選定



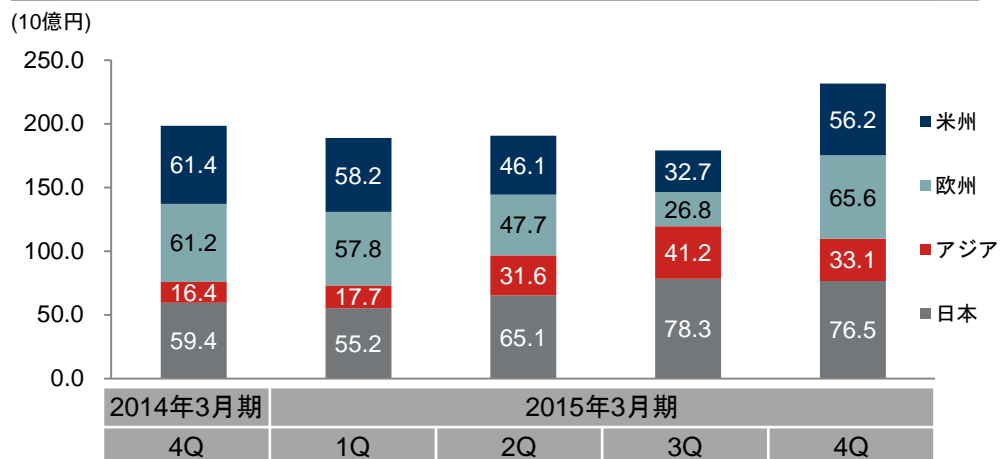
(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタルの運用資産の単純合計 (2) 出所: 投資信託協会
 (3) 運用資産残高(ネット)に基づく資金流出入額 (4) DisclaimerのMorningstar Award “Fund of the Year 2014”に関する留意事項を参照のこと (5) Disclaimerのリッパー・ファンド・アワードに関する留意事項を参照のこと

ホールセール部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)	通期		四半期						前四半期比	前年同期比
	2014年3月期	2015年3月期	2014年3月期4Q	2015年3月期						
				1Q	2Q	3Q	4Q			
グローバル・マーケット	649.7	683.4	166.8	166.6	168.1	149.7	199.0	+33%	+19%	
インベストメント・バンキング	115.4	106.5	31.7	22.3	22.5	29.2	32.4	+11%	+2%	
収益合計(金融費用控除後)	765.1	789.9	198.5	188.9	190.6	178.9	231.5	+29%	+17%	
金融費用以外の費用	653.3	707.7	165.0	183.1	168.4	178.5	177.7	-0.5%	+8%	
税前利益	111.8	82.2	33.5	5.7	22.2	0.5	53.8	119x	+61%	

地域別収益



決算のポイント

<通期>

- 収益: 7,899億円 (前年比3%増)
- 税前利益: 822億円 (前年比26%減)
 - 好調なアジア収益が欧州・米州の減速を吸収、円安進行もあり増収
 - Pay for performanceを徹底したものの円安進行でコストが増加、税前利益は減少

<第4四半期>

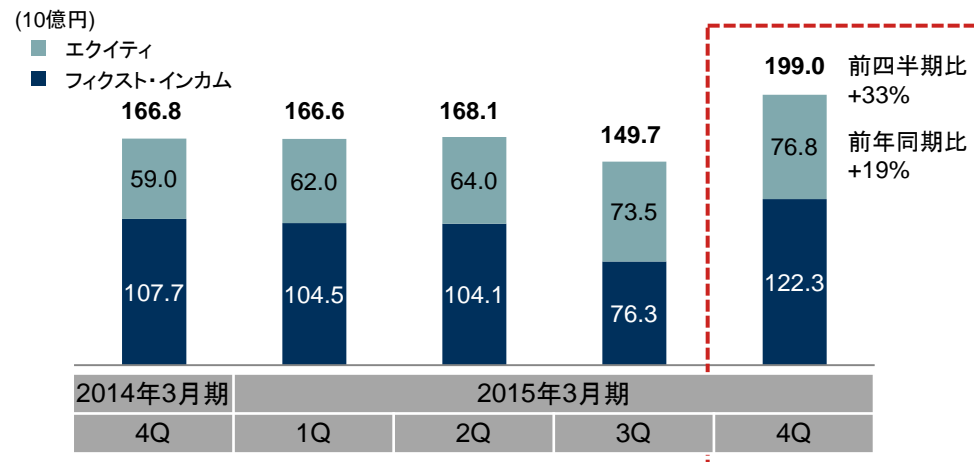
- 収益: 2,315億円 (前四半期比29%増、前年同期比17%増)
- 税前利益: 538億円 (前四半期比119倍、前年同期比61%増)
- 全ビジネスラインが増収
 - 特に欧州・米州フィクスト・インカムの特レーディング収益は大幅に回復
 - コスト増を抑制～四半期の税前利益としては直近6年間で最大

地域別概況(収益、前四半期比)

- 日本(765億円、2%減)
 - 若干の減収なるも、引き続き、部門収益を牽引
- 欧州(656億円、145%増)
 - 金利・クレジット等の大幅な改善を受け、欧州収益はV字回復
- 米州(562億円、72%増)
 - エクイティが好調を維持、クレジット中心にフィクスト・インカムは回復
 - インベストメント・バンキングはビジネス基盤構築以降、最大の四半期収益
- アジア(331億円、20%減)
 - 2009年4月以降で2番目の高収益～好調だった前四半期からは減速

ホールセール部門:グローバル・マーケット

収益合計(金融費用控除後)



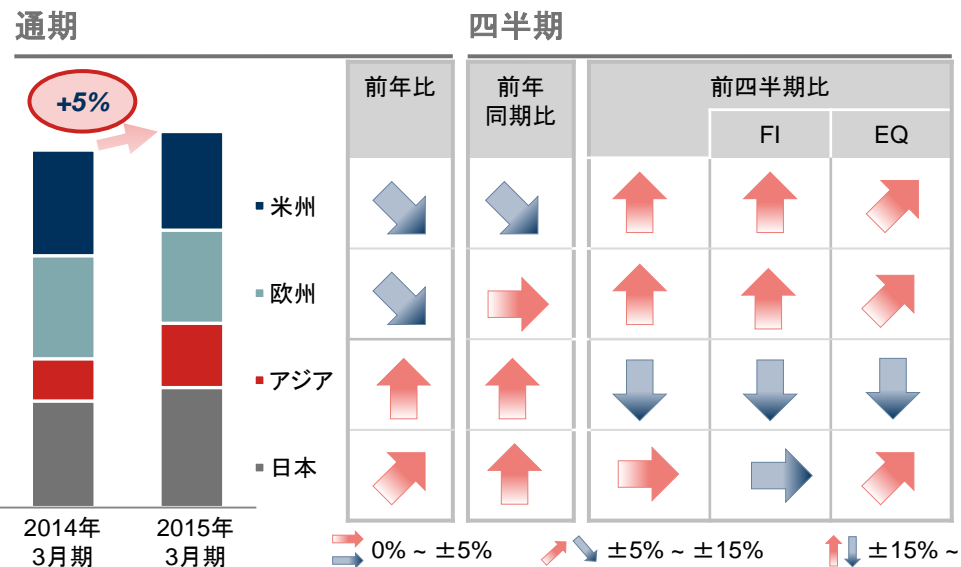
決算のポイント

<第4四半期>

グローバル・マーケット

- 収益: 1,990億円 (前四半期33%増、前年同期比19%増)
 - 徹底したリスク管理の中、的確に市場機会を捉え、欧州・米州のフィクスト・インカム収益が回復、アジアは前四半期から減速するも高水準の収益を確保
- 収益: 1,223億円 (前四半期比60%増、前年同期比13%増)
 - 欧州・米州の金利やクレジットが回復、為替はグローバルに好調が継続
- 収益: 768億円 (前四半期比4%増、前年同期比30%増)
 - 市場の活況に伴い欧州はキャッシュ・ビジネスが好調、日本・米州でデリバティブが改善

2015年3月期通期および第4四半期 地域別収益



<通期>

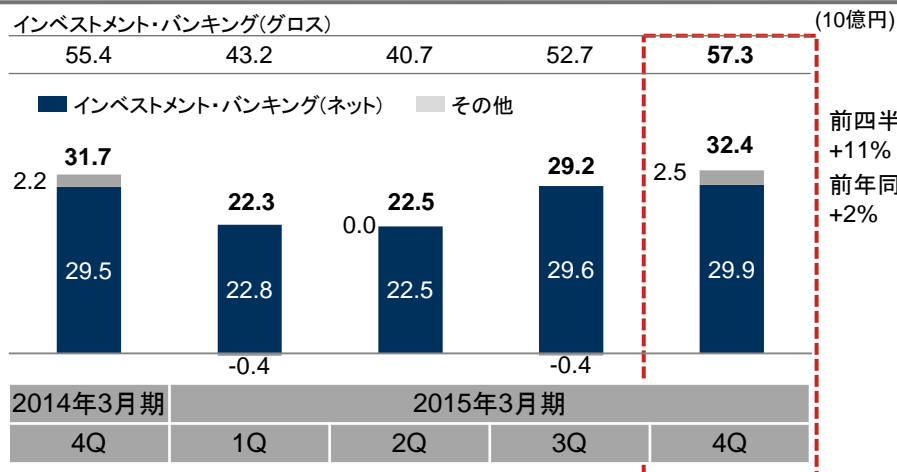
- 日本・アジアが牽引し、グローバル・マーケット収益は前年比で増加

<第4四半期>

- 米州: フィクスト・インカムは金利・クレジットが前四半期から復調、エクイティは堅調
- 欧州: 為替は引き続き好調、金利・クレジットが大幅に改善し、エクイティも回復
- アジア: G10が替やクレジットが好調も、エマージングの金利やエクイティは高水準だった前四半期から減速
- 日本: 為替が引き続き好調、エクイティはキャッシュ、デリバティブ共に堅調

ホールセール部門：インベストメント・バンキング

収益合計(金融費用控除後)



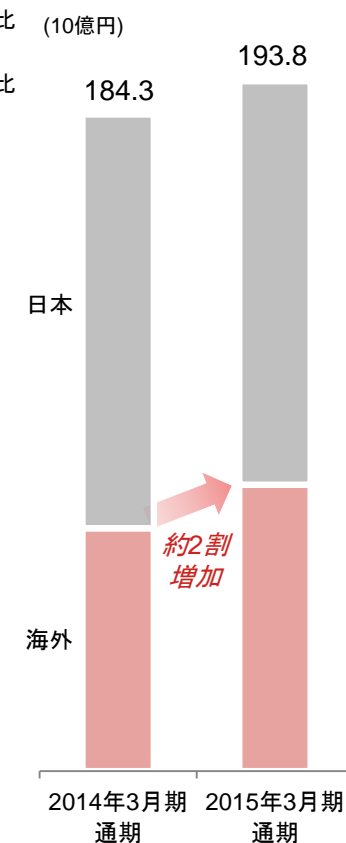
決算のポイント

<第4四半期>

- 収益: 324億円(前四半期比11%増、前年同期比2%増)
- インベストメント・バンキング(グロス)収益は573億円
 - 2011年1-3月期以降で最高の四半期収益～米州中心に海外収益が拡大
 - 日本は前四半期並みの収益を確保
 - ✓ LIXILや中国電力のCB、ソフトバンクのリテール債など大型案件を複数獲得
 - ✓ 顧客ニーズに合致した新商品の開発にも注力し、ソリューション収益が拡大
 - 海外は前四半期比で増収～欧州・米州が牽引
 - ✓ 米州は2010年のビジネス基盤構築以降、最大の四半期収益
 - ✓ M&A複合化案件やソリューション・ビジネス、フィナンシャル・スポンサーや金融機関向けビジネスが収益に貢献

海外ビジネス基盤の強化に伴い、通期の海外収益比率は4割強へ上昇

インベストメント・バンキング(グロス)収益



<通期>

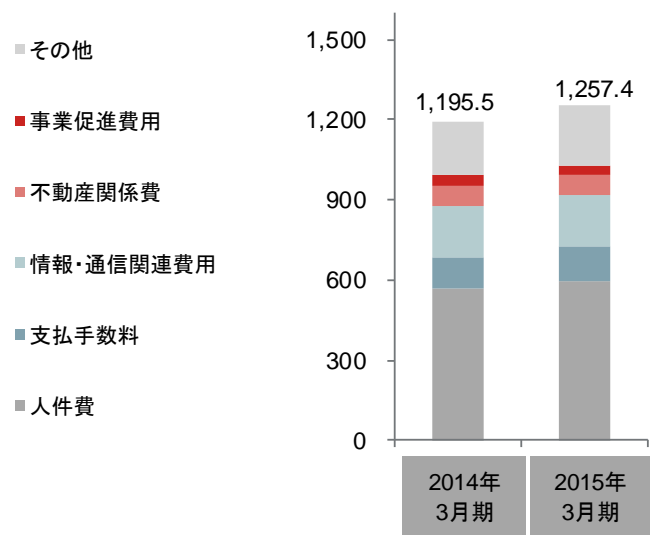
- 海外収益は2010年3月期以降で最大
 - ✓ 選択的拡大を行っている米州で実績を積み上げ
- 日本ではマーケットシェアを拡大し、前年並みの収益を確保
 - ✓ 三井不動産(PO)、リクルート(IPO)等、日本企業による大型資金調達を多数サポート
 - ✓ 日本関連リーゲテーブル¹で首位
 - <シェア(前年同期との比較)>
 - ECM: 32.1%→37.8%
 - DCM: 26.2%→34.1%
 - M&A: 17.2%→24.6%
- 1兆円超を含む大型M&A案件やM&Aに付随する複合化案件を多数獲得
 - ✓ Repsol / Talisman Energy(M&A)
 - ✓ BC Partners / PetSmart (M&A, ALF)
 - ✓ 伊藤忠 / CP Group / CITIC(M&A)
 - クローズ前の案件も複数あり、今後の収益貢献を見込む
- 日本企業に対する多様なソリューション提供
 - ✓ クロスボーダーM&AやIPOに絡むDCF²
 - ✓ 政策保有株の売却
 - ✓ 保険ソリューション

(1) 出所:ECMIはトムソン・ロイター、DCMIはトムソン・ディールウォッチでの日本普通社債(含:自社債)、日本関連M&Aはトムソンロイター、期間:2014年4月-2015年3月
 (2) ディール・コンティンジェントFX

金融費用以外の費用

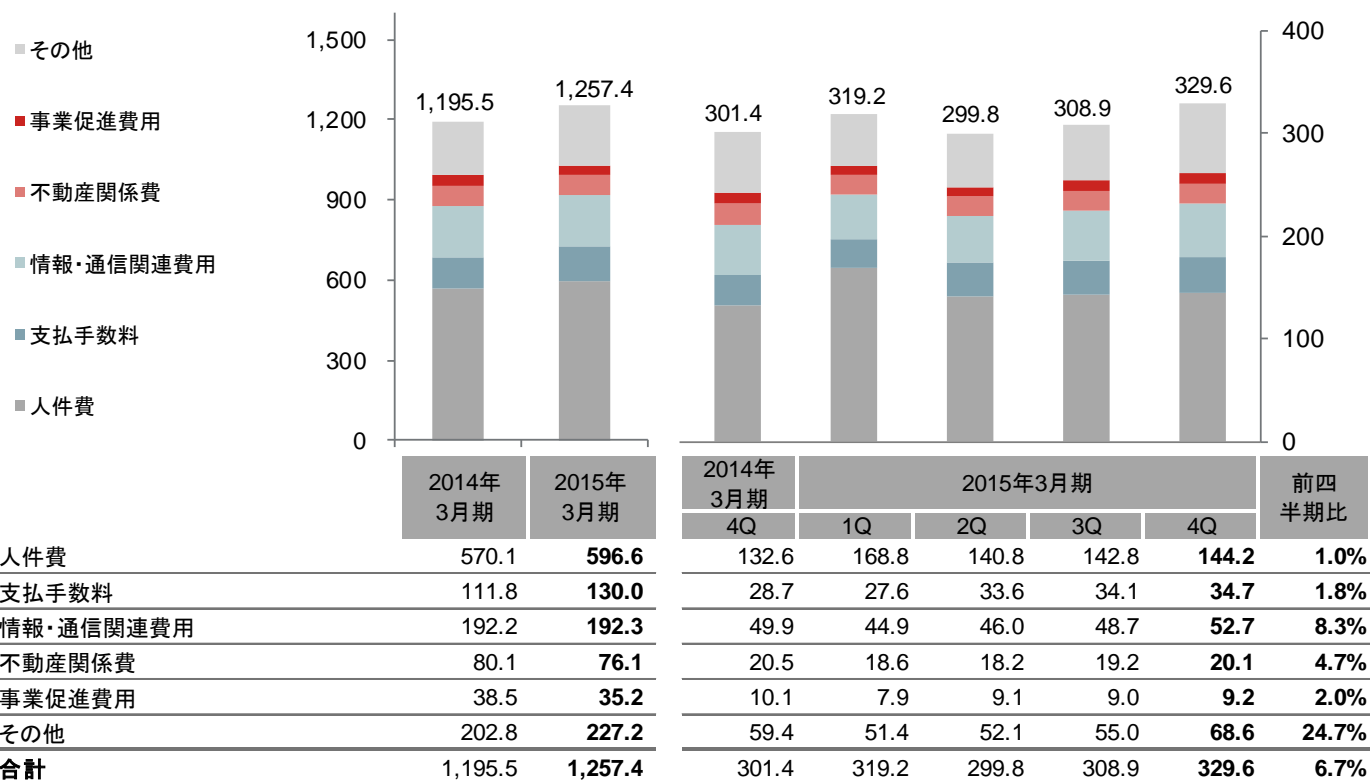
通期

(10億円)



四半期

(10億円)



決算のポイント

<通期>

■ 金融費用以外の費用: 1兆2,574億円
(前年比5%増)

- 円安進行が主な増加要因
- 加えて、取引量の増加に伴う変動費(支払手数料)上昇や連結子会社の追加もコスト水準を押し上げ

<四半期>

■ 金融費用以外の費用: 3,296億円
(前四半期比7%増)

- 円安進行に加え、「その他」に一時的なシステム除却損や海外出資分からの為替差損等を計上
- 人件費は為替インパクトを除けば減少

強固な財務基盤を維持

バランス・シート関連指標と連結自己資本規制比率

	2014年 3月末	2014年 12月末	2015年 3月末
■ 資産合計	43.5兆円	44.1兆円	41.8兆円
■ 当社株主資本	2.5兆円	2.7兆円	2.7兆円
■ グロス・レバレッジ	17.3倍	16.2倍	15.4倍
調整後レバレッジ ¹	10.4倍	10.5倍	9.3倍
■ レベル3資産 ² (デリバティブ負債相殺後)	0.4兆円	0.3兆円	0.3兆円
■ 流動性ポートフォリオ	6.1兆円	6.4兆円	6.1兆円

バーゼル3ベース (10億円)	2014年12月末	2015年3月末 ²
Tier 1	2,484	2,459
Tier 2	367	361
自己資本合計	2,851	2,820
リスク調整後資産 ³	19,810	18,933
Tier 1 比率	12.5%	12.9%
Tier 1 コモン比率 ⁴	12.5%	12.9%
連結自己資本規制比率	14.3%	14.8%
レバレッジ比率 ⁵	-	3.81%

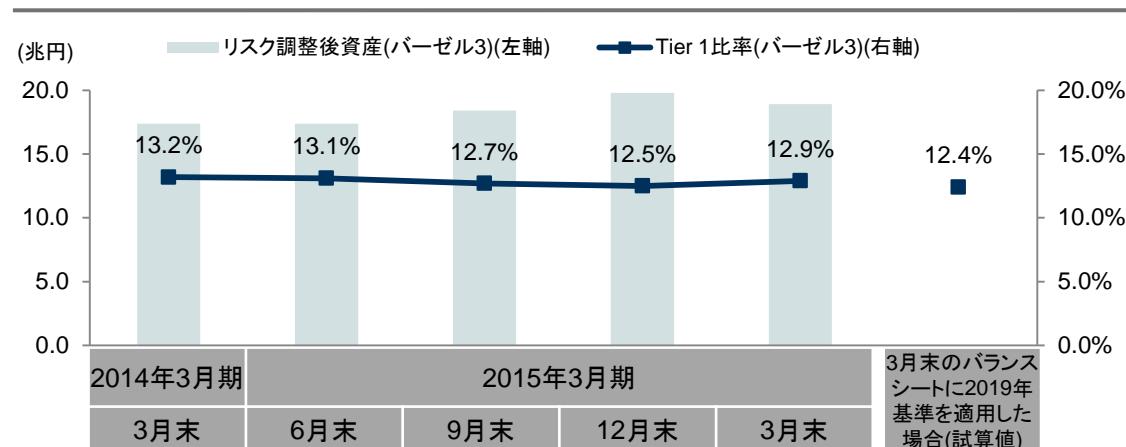
(1) 調整後レバレッジは、総資産の額から売戻条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率

(2) 暫定数値 (3) 信用リスク・アセットの算出に用いるエクスポージャーの額は、期待エクスポージャー方式(IMM)を用いて算出

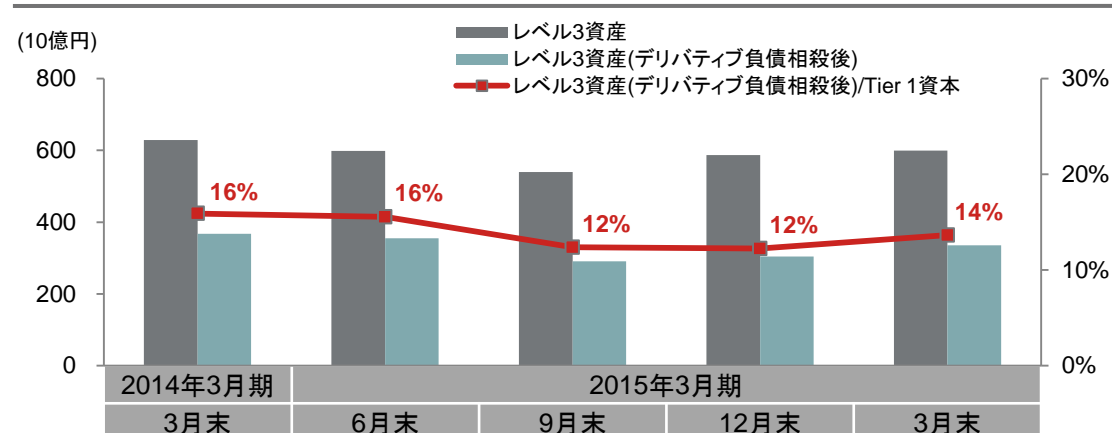
(4) Tier 1コモン比率: Tier 1資本から非支配持分を控除し、リスク調整後資産で除したものの

(5) Tier 1資本を、エクスポージャー額(オンバランス項目+オフバランス項目)で除したものの

リスク調整後資産³、Tier 1比率



レベル3資産²の推移と対Tier 1資本比率



資金調達と流動性

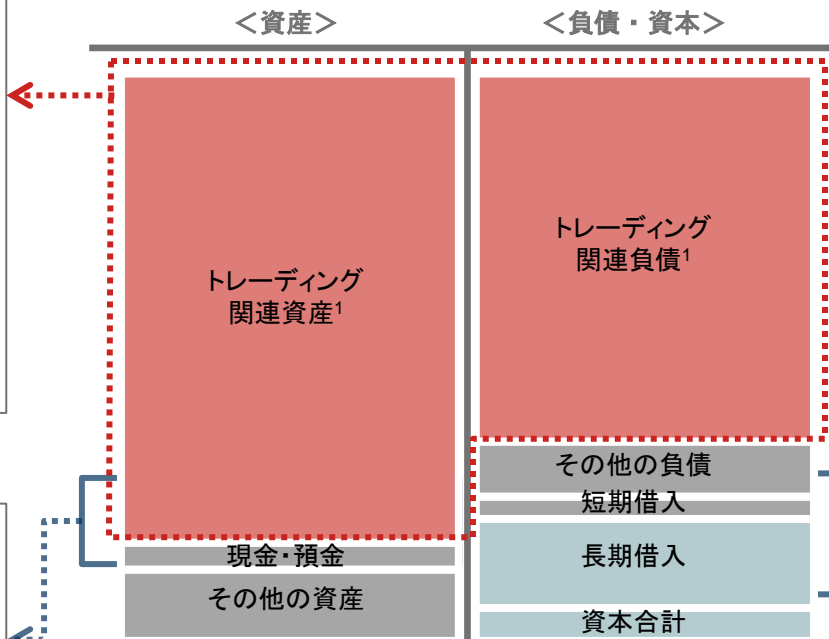
貸借対照表
(2015年3月末現在)

バランスシート構造

- 流動性の高い、健全なバランスシート構造
 - 資産の81%は流動性の高いトレーディング関連資産であり、Mark-to-marketの対象。レポ等を通じて、トレーディング関連負債とマッチング(地域、通貨)
 - その他の資産は、資本及び長期負債で調達しており、構造的に安定

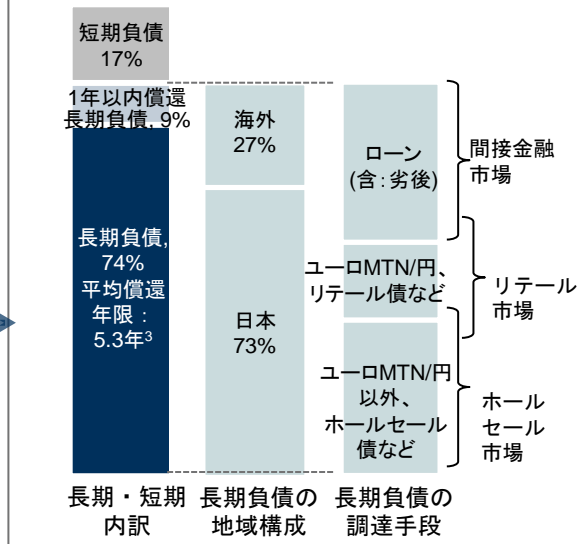
流動性ポートフォリオ²

- 流動性ポートフォリオ:
 - 6.1兆円、総資産の15%
 - 新たな無担保資金調達に頼らず、一定期間、事業継続可能な高い流動性を常時保持



無担保調達資金²

- 無担保調達資金の8割強が長期負債
- 調達先は分散



(1) トレーディング関連資産:リバース・レポ、証券、デリバティブ等、トレーディング関連負債:レポ、負債証券、デリバティブ等
 (2) 流動性管理の観点に基づくもので、財務諸表の定義と異なる。流動性ポートフォリオの中の現金・預金は取引所預託金およびその他の顧客分別金を含まない
 (3) 1年以内償還長期負債を除く。ストレステストでの早期償還確率を織り込む

Financial Supplement

バランス・シート関連データ

連結貸借対照表

(10億円)	2014年 3月末	2015年 3月末	前期比 増減		2014年 3月末	2015年 3月末	前期比 増減
資産				負債			
現金・預金	2,189	2,097	-93	短期借入	602	662	60
貸付金および受取債権	2,571	2,948	378	支払債務および受入預金	2,837	3,399	562
担保付契約	17,347	16,720	-627	担保付調達	17,112	15,380	-1,732
トレーディング資産 ¹ および プライベート・エクイティ投資	18,714	17,309	-1,405	トレーディング負債	11,047	10,044	-1,003
その他の資産	2,699	2,710	11	その他の負債	1,142	1,217	75
				長期借入	8,227	8,336	109
				負債合計	40,967	39,038	-1,929
資産合計	43,520	41,783	-1,737	資本			
				当社株主資本合計	2,514	2,708	194
				非支配持分	40	37	-2
				負債および資本合計	43,520	41,783	-1,737

(1) 担保差入有価証券を含む

バリュー・アット・リスク

■ VaRの前提

- 信頼水準 : 99%
- 保有期間 : 1日
- 商品の価格変動等を考慮

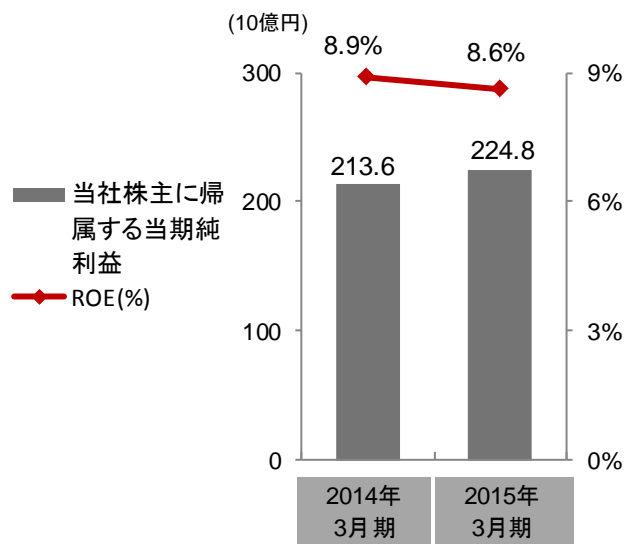
■ VaRの実績(10億円)

- 期間 : 2014.4.1~2015.3.31
- 最大 : 9.8
- 最小 : 3.1
- 平均 : 6.4

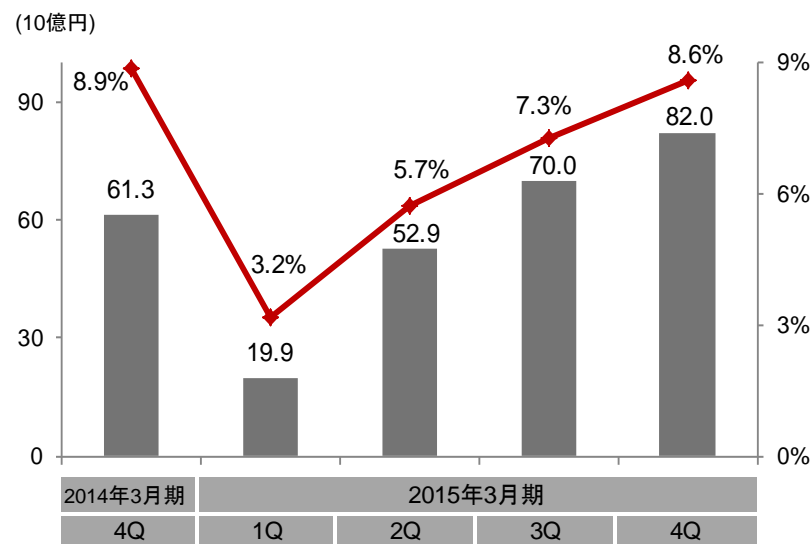
(10億円)	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年 3月期	2015年3月期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
株式関連	1.3	1.0	1.3	2.8	1.5	3.3	1.0
金利関連	3.9	4.2	3.9	5.2	4.2	4.5	4.2
為替関連	2.8	1.1	2.8	2.0	2.7	3.1	1.1
小計	8.0	6.2	8.0	10.0	8.5	10.9	6.2
分散効果	-2.9	-1.6	-2.9	-0.7	-1.6	-1.2	-1.6
連結VaR	5.2	4.6	5.2	9.3	6.8	9.7	4.6

連結決算概要

通期



四半期



収益合計(金融費用控除後)	1,557.1	1,604.2
税引前当期純利益	361.6	346.8
当社株主に帰属する当期純利益	213.6	224.8
当社株主資本合計	2,513.7	2,707.8
ROE(%) ¹⁾	8.9%	8.6%
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(円)	57.57	61.66
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(円)	55.81	60.03
1株当たり株主資本(円)	676.15	752.40

収益合計(金融費用控除後)	389.9	370.8	373.8	425.0	434.5
税引前当期純利益	88.6	51.7	74.0	116.1	105.0
当社株主に帰属する当期純利益	61.3	19.9	52.9	70.0	82.0
当社株主資本合計	2,513.7	2,467.7	2,561.1	2,714.4	2,707.8
ROE(%) ¹⁾	8.9%	3.2%	5.7%	7.3%	8.6%
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(円)	16.48	5.40	14.53	19.22	22.65
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(円)	16.02	5.26	14.15	18.72	22.08
1株当たり株主資本(円)	676.15	678.69	703.55	744.91	752.40

(1) 四半期のROEは、各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出

連結損益

(10億円)	通期		四半期					
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年3月期	2015年3月期				
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
収益								
委託・投信募集手数料	473.1	453.4	89.5	95.6	110.8	123.2	123.7	
投資銀行業務手数料	91.3	95.1	27.2	19.8	20.6	28.8	25.8	
アセットマネジメント業務手数料	168.7	203.4	42.5	46.1	49.7	53.3	54.3	
トレーディング損益	476.4	531.3	129.2	158.6	129.0	109.5	134.3	
プライベート・エクイティ投資関連損益	11.4	5.5	-0.3	-0.3	0.5	-0.2	5.5	
金融収益	416.3	436.8	100.3	104.9	108.8	115.6	107.5	
投資持分証券関連損益	15.2	29.4	-5.2	6.3	2.9	11.8	8.4	
その他	179.5	175.7	67.7	31.1	28.5	65.6	50.5	
収益合計	1,831.8	1,930.6	450.8	462.2	450.8	507.6	510.0	
金融費用	274.8	326.4	60.8	91.3	77.0	82.6	75.5	
収益合計(金融費用控除後)	1,557.1	1,604.2	389.9	370.8	373.8	425.0	434.5	
金融費用以外の費用	1,195.5	1,257.4	301.4	319.2	299.8	308.9	329.6	
税引前当期純利益	361.6	346.8	88.6	51.7	74.0	116.1	105.0	
当社株主に帰属する当期純利益	213.6	224.8	61.3	19.9	52.9	70.0	82.0	

連結決算：主な収益の内訳

(10億円)	通期		四半期					
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年3月期	2015年3月期				
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
委託・投信 募集手数料	株式委託手数料(営業)	126.7	92.0	22.6	15.8	21.9	27.0	27.3
	株式委託手数料(その他)	139.8	160.7	35.6	34.3	36.9	46.0	43.5
	その他委託手数料	18.1	19.6	4.3	3.8	4.0	6.1	5.8
	投信募集手数料	157.8	134.3	19.3	30.5	37.5	32.6	33.6
	その他	30.6	46.8	7.8	11.3	10.5	11.4	13.5
	合計	473.1	453.4	89.5	95.6	110.8	123.2	123.7
投資銀行 業務手数料	株式 ¹	34.8	28.8	11.5	5.8	5.9	10.2	6.9
	債券 ¹	15.2	20.4	3.7	4.7	5.8	3.8	6.1
	M&A・財務コンサルティングフィー ¹	23.7	24.6	7.0	5.6	4.7	8.8	5.6
	その他 ¹	17.5	21.2	5.0	3.7	4.2	6.1	7.2
	合計	91.3	95.1	27.2	19.8	20.6	28.8	25.8
アセット マネジメント 業務手数料	アセットマネジメントフィー	126.7	151.8	31.9	35.0	37.5	39.4	39.9
	アセット残高報酬	23.9	32.6	6.1	6.6	7.6	9.1	9.4
	カストディアルフィー	18.1	19.0	4.5	4.6	4.7	4.8	5.0
	合計	168.7	203.4	42.5	46.1	49.7	53.3	54.3

(1) プロダクト別の内訳を、取り扱う商品や収益の特性に基づき見直し、過去に遡り組み替えて表示

連結決算:セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)

連結決算数値とセグメント数値間の調整:税前利益(損失)

(10億円)	通期		四半期				
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年3月期	2015年3月期			
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業部門	192.0	161.8	23.3	31.6	38.9	50.5	40.9
アセット・マネジメント部門	27.1	32.1	5.3	8.3	7.8	9.3	6.7
ホールセール部門	111.8	82.2	33.5	5.7	22.2	0.5	53.8
3セグメント合計税前利益	330.9	276.1	62.1	45.6	68.9	60.3	101.4
その他	20.0	46.0	34.2	2.6	2.5	44.8	-4.0
セグメント合計税前利益	350.9	322.1	96.2	48.2	71.4	105.1	97.4
営業目的で保有する 投資持分証券の評価損益	10.7	24.7	-7.7	3.5	2.6	11.0	7.6
税前利益	361.6	346.8	88.6	51.7	74.0	116.1	105.0

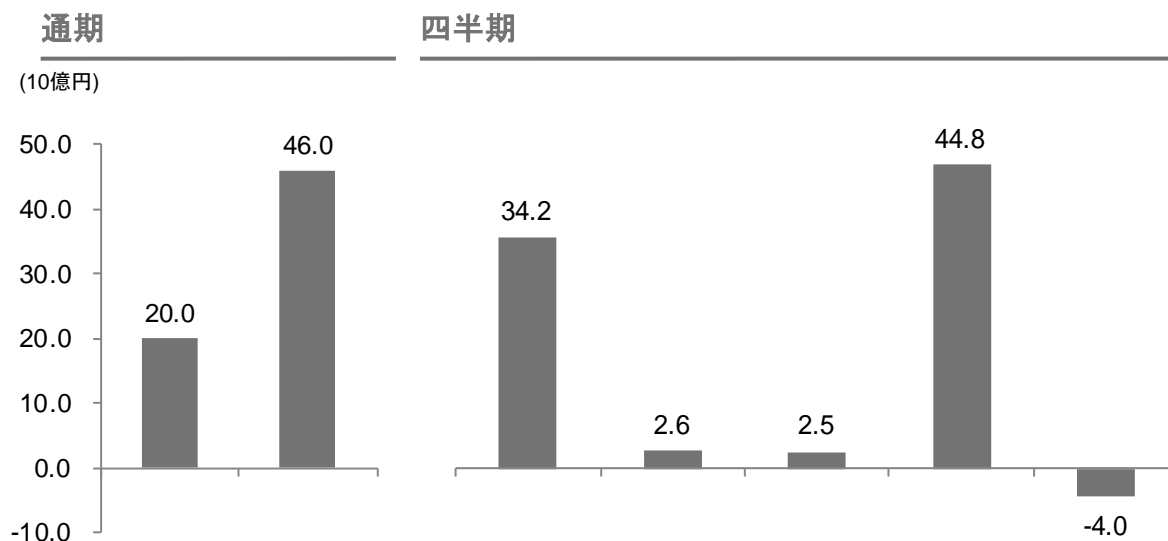
地域別情報:税前利益(損失)¹

(10億円)	通期		四半期				
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年3月期	2015年3月期			
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
米州	29.5	-27.6	31.2	6.1	-6.8	-12.7	-14.2
欧州	-48.9	-23.5	-10.1	-22.9	2.0	-10.4	7.8
アジア・オセアニア	-5.2	34.6	-5.2	-0.3	8.5	16.2	10.3
海外合計	-24.7	-16.4	15.9	-17.1	3.7	-7.0	3.9
日本	386.3	363.2	72.6	68.8	70.3	123.1	101.0
税前利益	361.6	346.8	88.6	51.7	74.0	116.1	105.0

(1) 米国会計原則に基づく「地域別情報」を記載(但し当第4四半期の数値は速報値)。米国会計原則に基づく「地域別情報」は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法的主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではありません

セグメント「その他」

税前利益(損失)



	2014年		2015年3月期				
	3月期	3月期	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
経済的ヘッジ取引に関連する損益	17.4	15.1	6.5	6.9	2.2	6.4	-0.3
営業目的で保有する投資持分証券の実現損益	4.4	4.7	2.4	2.9	0.3	0.8	0.8
関連会社損益の持分額	28.6	42.2	6.2	3.5	8.0	18.2	12.6
本社勘定	-38.8	-20.1	-3.8	-3.1	-8.4	-3.2	-5.5
その他	8.4	4.0	22.8	-7.6	0.5	22.6	-11.5
税前利益(損失)	20.0	46.0	34.2	2.6	2.5	44.8	-4.0

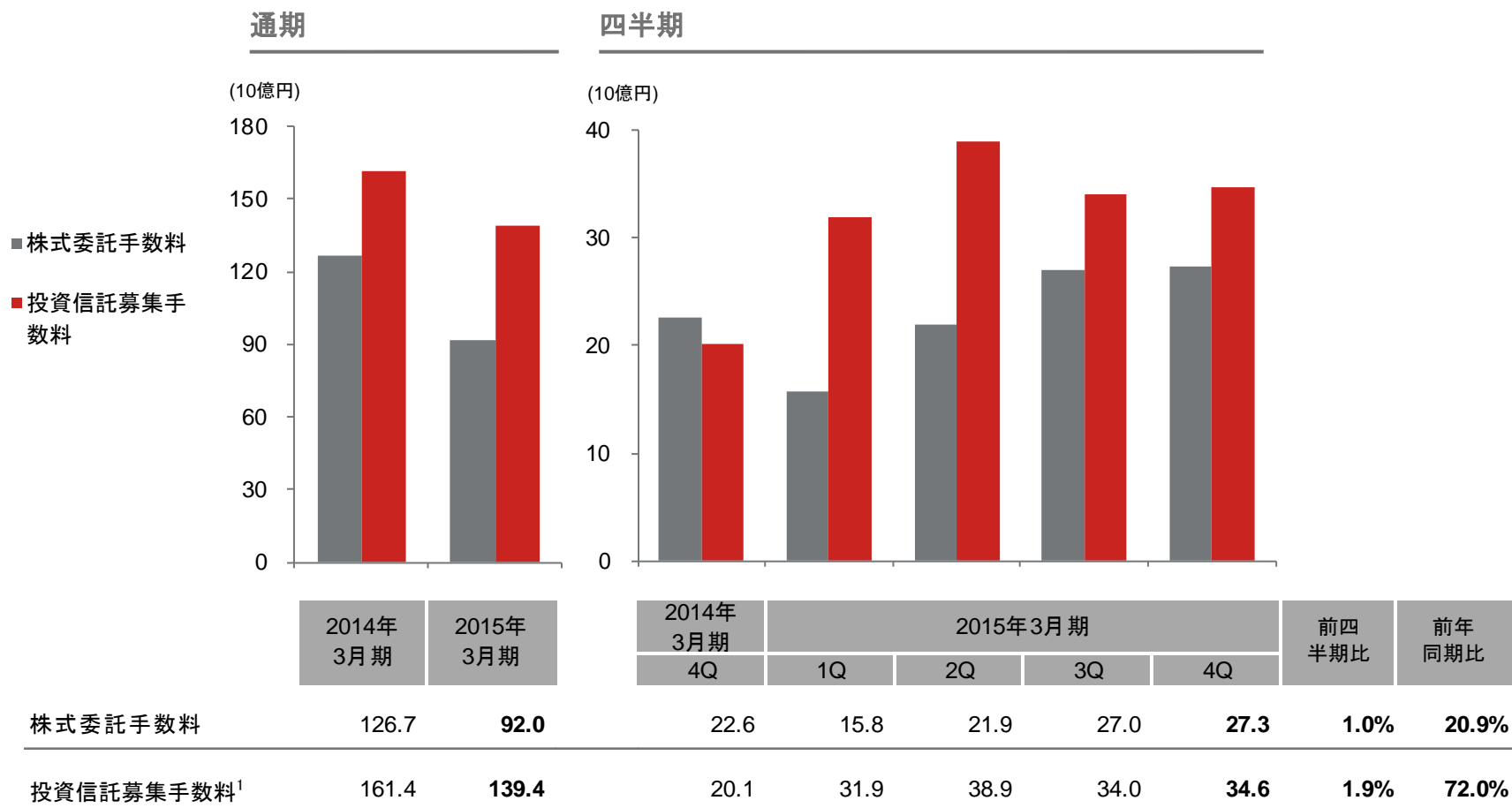
営業部門関連データ(1)

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年3月期	2015年3月期			4Q	
			4Q	1Q	2Q	3Q		
委託・投信募集手数料	300.2	258.9	46.1	55.4	67.5	70.6	65.3	-7.4%
販売報酬	106.1	106.4	26.4	25.0	25.9	30.0	25.4	-15.3%
投資銀行業務手数料等	40.3	32.5	9.1	9.1	6.7	8.7	8.0	-7.3%
投資信託残高報酬等	57.5	71.9	14.3	15.0	16.4	18.1	22.3	23.6%
純金融収益等	7.7	6.9	1.9	2.3	1.3	1.5	1.8	21.7%
収益合計(金融費用控除後)	511.9	476.5	97.9	106.9	117.9	128.8	122.9	-4.6%
金融費用以外の費用	319.9	314.7	74.6	75.3	79.1	78.3	82.0	4.7%
税前利益	192.0	161.8	23.3	31.6	38.9	50.5	40.9	-19.0%
国内投信販売金額 ¹	10,146.4	9,478.5	1,794.1	2,245.2	2,380.2	2,516.7	2,336.3	-7.2%
公社債投信	3,146.3	3,110.2	768.2	795.3	743.9	831.3	739.8	-11.0%
株式投信	6,201.4	5,445.1	836.8	1,264.4	1,402.8	1,405.4	1,372.4	-2.3%
外国投信	798.7	923.1	189.1	185.5	233.6	280.0	224.1	-20.0%
その他								
年金保険契約累計額(期末)	2,033.1	2,401.7	2,033.1	2,123.6	2,206.2	2,305.2	2,401.7	4.2%
個人向け国債販売額 (約定ベース)	1,037.0	380.6	214.6	153.5	95.4	84.0	47.8	-43.1%
リテール外債販売額	1,595.6	1,255.7	386.6	363.9	276.3	361.1	254.4	-29.5%

(1) ネット&コール、ほっとダイレクトを除く

営業部門関連データ(2)

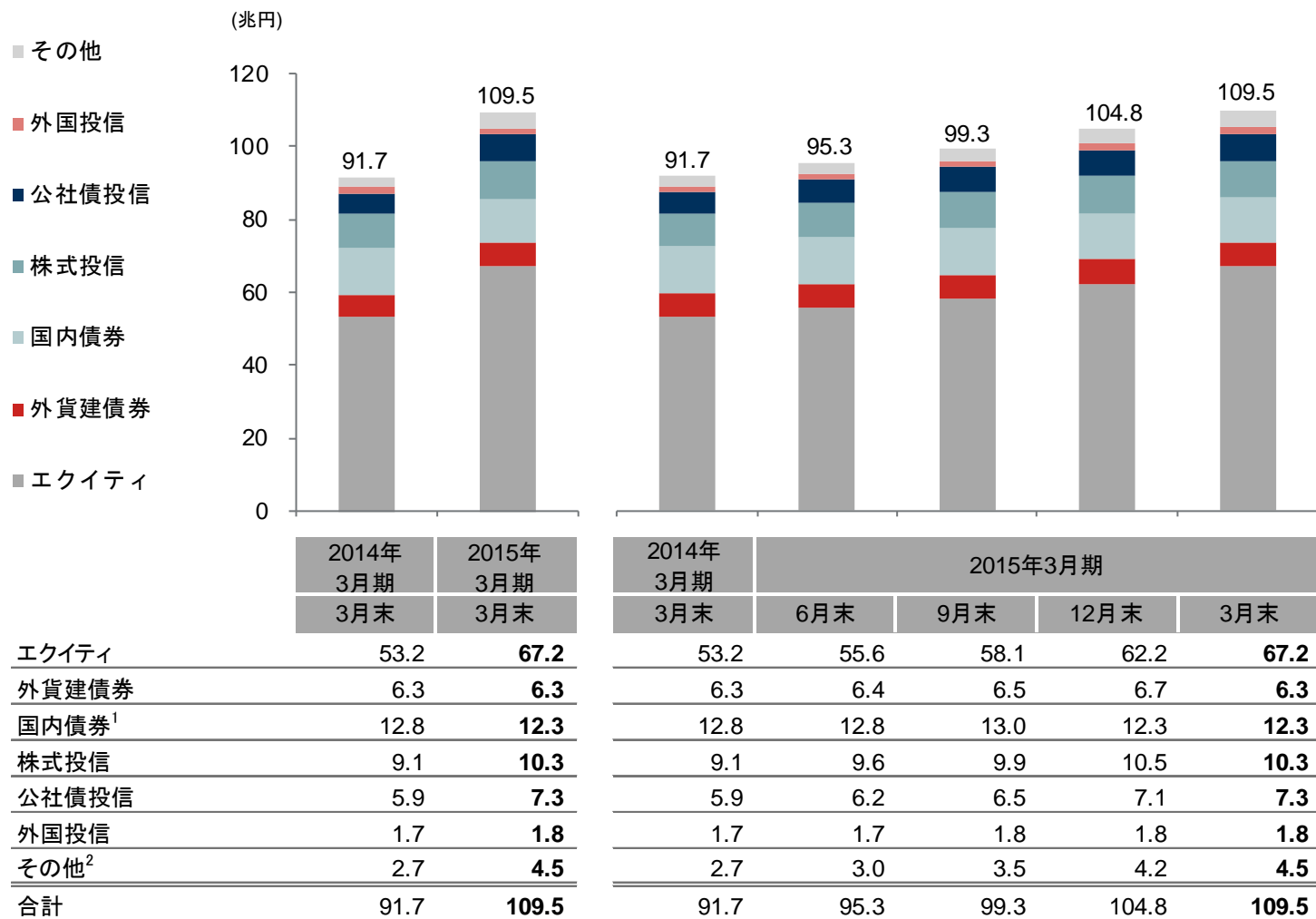
株式委託手数料と投資信託募集手数料



(1) 野村証券単体ベース

営業部門関連データ(3)

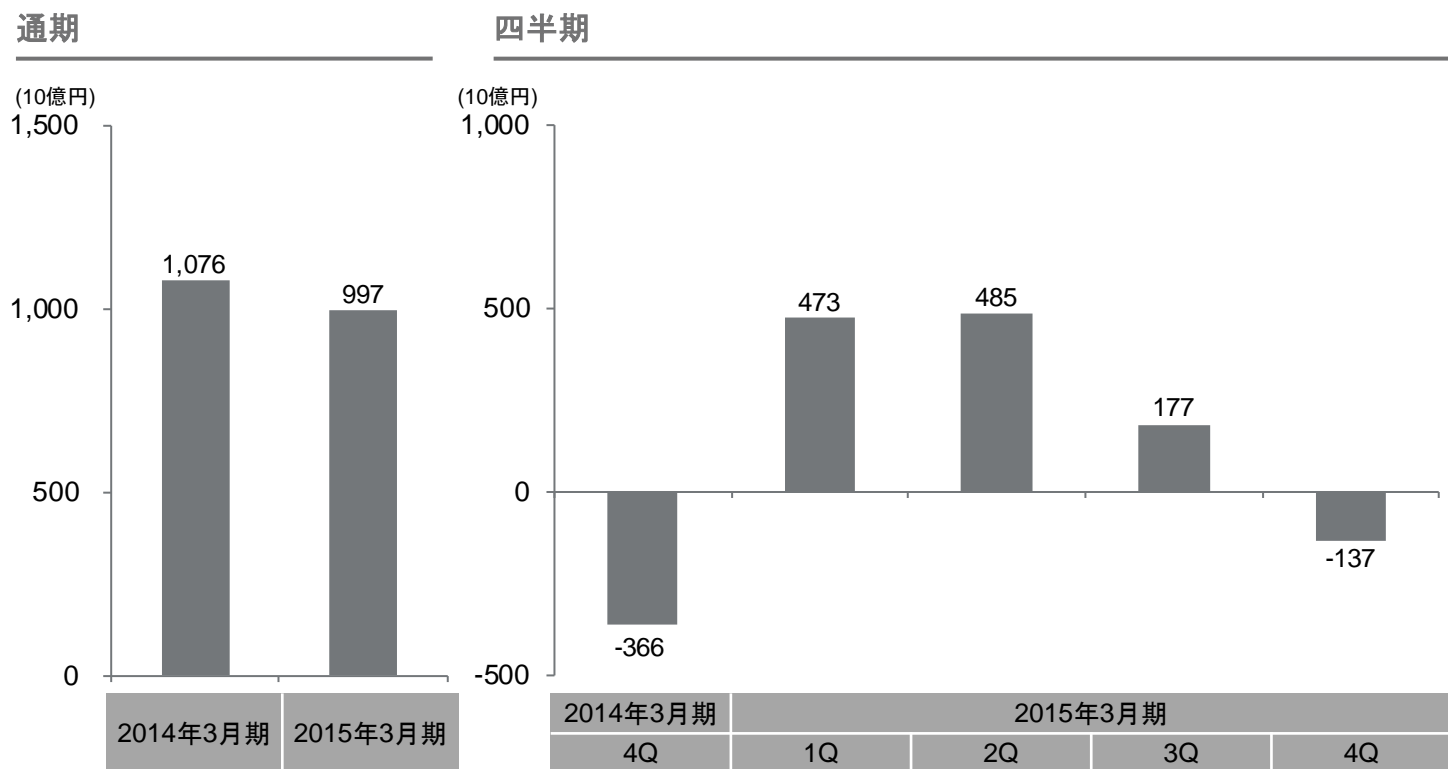
営業部門顧客資産残高



(1) CB・ワラントを含む
 (2) 年金保険契約資産残高を含む

営業部門関連データ(4)

現金本券差引¹⁾



(1) 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引

営業部門関連データ(5)

口座数

(千口座)	2014年3月期	2015年3月期	2014年3月期	2015年3月期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
残あり顧客口座数	5,144	5,256	5,144	5,186	5,211	5,238	5,256
株式保有口座数	2,718	2,719	2,718	2,721	2,720	2,723	2,719
ホームトレード/ ネット&コール口座数	4,012	4,216	4,012	4,053	4,103	4,154	4,216

個人新規開設口座数・IT比率¹

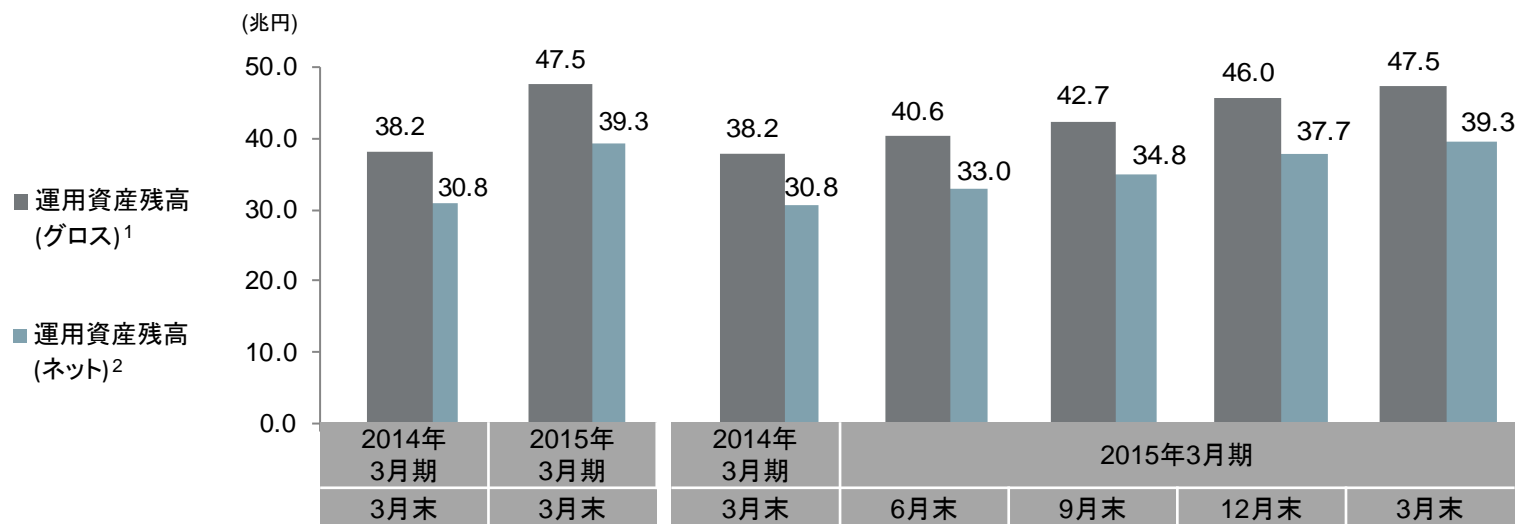
(千口座)	通期		四半期				
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年3月期 4Q	2015年3月期			
				1Q	2Q	3Q	4Q
個人新規開設口座数	364	320	90	67	81	77	95
IT比率 ¹							
売買件数ベース	58%	59%	60%	60%	60%	58%	60%
売買金額ベース	33%	37%	37%	36%	37%	37%	39%

(1) 現物株のうち、ホームトレードを通じて売買された割合

アセット・マネジメント部門関連データ(1)

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年 3月期	2015年3月期					
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
収益合計(金融費用控除後)	80.5	92.4	20.5	23.3	21.7	23.4	23.9	1.9%	16.7%
金融費用以外の費用	53.4	60.3	15.1	15.1	13.9	14.1	17.2	22.2%	13.7%
税前利益	27.1	32.1	5.3	8.3	7.8	9.3	6.7	-28.7%	25.4%

アセット・マネジメント部門 運用資産残高



(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタルの運用資産の単純合計
 (2) 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後

アセット・マネジメント部門関連データ(2)

アセット・マネジメント部門 運用資産残高(グロス)¹ービジネス別

(兆円)	2014年	2015年	2014年	2015年3月期			
	3月期	3月期	3月期	6月末	9月末	12月末	3月末
	3月末	3月末	3月末				
投資信託ビジネス	28.4	34.9	28.4	29.6	31.3	33.9	34.9
投資顧問ビジネス	9.8	12.6	9.8	11.0	11.4	12.1	12.6
運用資産残高(グロス) ¹	38.2	47.5	38.2	40.6	42.7	46.0	47.5

運用資産残高ー会社別

(兆円)	2014年	2015年	2014年	2015年3月期			
	3月期	3月期	3月期	6月末	9月末	12月末	3月末
	3月末	3月末	3月末				
野村アセットマネジメント	33.8	42.6	33.8	36.2	38.3	41.2	42.6
野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー	2.6	3.0	2.6	2.5	2.6	2.9	3.0
ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント	1.6	1.7	1.6	1.7	1.6	1.6	1.7
野村プライベート・エクイティ・キャピタル	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
運用資産残高(グロス) ¹	38.2	47.5	38.2	40.6	42.7	46.0	47.5
グループ会社間の重複資産	7.4	8.2	7.4	7.6	7.9	8.3	8.2
運用資産残高(ネット) ²	30.8	39.3	30.8	33.0	34.8	37.7	39.3

(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタルの運用資産の単純合計

(2) 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後

(3) 運用資産残高(ネット)に基づく資金流出入額

(4) 出所:投資信託協会

アセット・マネジメント部門 資金流出入ービジネス別³

(10億円)	通期		四半期				
	2014年	2015年	2014年	2015年3月期			
	3月期	3月期	3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
	3月末	3月末	4Q				
投資信託ビジネス	1,598	3,418	-319	473	879	1,124	942
うちETF	882	843	501	-23	90	298	477
投資顧問ビジネス	-520	50	-938	27	-44	-46	113
資金流出入 合計	1,078	3,469	-1,257	500	835	1,078	1,055

国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア⁴

(兆円)	2014年	2015年	2014年	2015年3月期			
	3月期	3月期	3月期	6月末	9月末	12月末	3月末
	3月末	3月末	3月末				
国内公募株式投信残高							
マーケット	65.7	80.3	65.7	68.8	71.7	77.1	80.3
野村アセットマネジメントシェア	19%	20%	19%	18%	19%	19%	20%
国内公募公社債投信残高							
マーケット	14.5	16.7	14.5	14.8	15.4	16.4	16.7
野村アセットマネジメントシェア	42%	43%	42%	43%	43%	43%	43%

ホールセール部門関連データ(1)

ホールセール部門

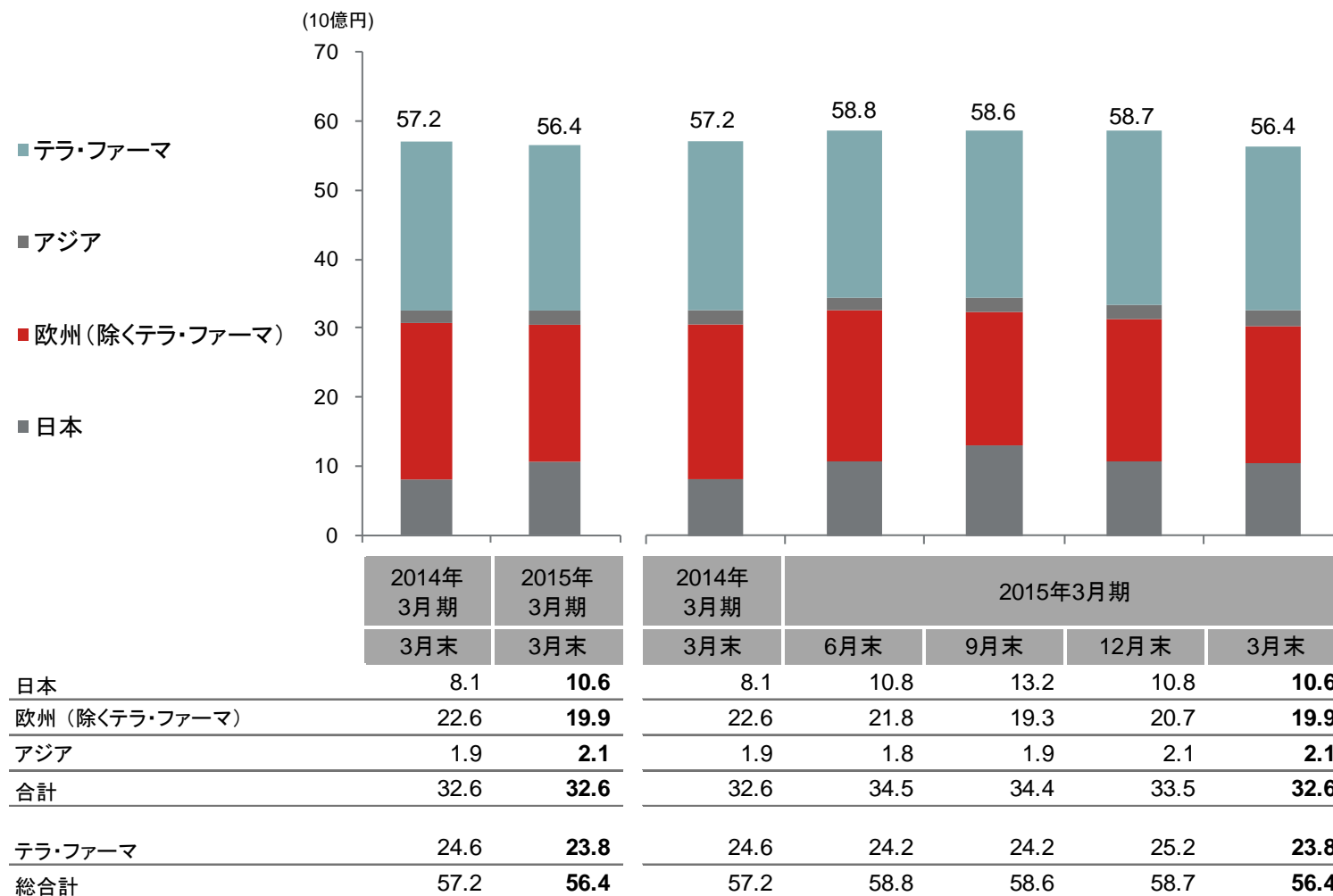
(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年3月期	2015年3月期					
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
収益合計(金融費用控除後)	765.1	789.9	198.5	188.9	190.6	178.9	231.5	29.4%	16.6%
金融費用以外の費用	653.3	707.7	165.0	183.1	168.4	178.5	177.7	-0.5%	7.7%
税前利益	111.8	82.2	33.5	5.7	22.2	0.5	53.8	119x	60.7%

ホールセール部門 収益の内訳

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2014年 3月期	2015年 3月期	2014年3月期	2015年3月期					
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
フィクスト・インカム	398.2	407.2	107.7	104.5	104.1	76.3	122.3	60.4%	13.5%
エクイティ	251.5	276.2	59.0	62.0	64.0	73.5	76.8	4.5%	30.0%
グローバル・マーケット	649.7	683.4	166.8	166.6	168.1	149.7	199.0	32.9%	19.3%
インベストメント・バンキング(ネット)	97.4	104.7	29.5	22.8	22.5	29.6	29.9	1.0%	1.3%
その他	18.0	1.8	2.2	-0.4	0.0	-0.4	2.5	-	15.7%
インベストメント・バンキング	115.4	106.5	31.7	22.3	22.5	29.2	32.4	11.0%	2.3%
収益合計(金融費用控除後)	765.1	789.9	198.5	188.9	190.6	178.9	231.5	29.4%	16.6%
インベストメント・バンキング(グロス)	184.3	193.8	55.4	43.2	40.7	52.7	57.3	8.8%	3.4%

ホールセール部門関連データ(2)

プライベート・エクイティ関連投資残高



	2014年	2015年	2014年3月期	2015年3月期			
	3月期	3月期		3月末	6月末	9月末	12月末
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
日本(FA除く)	14,149	14,144	14,149	14,559	14,391	14,290	14,144
FA社員	1,888	1,829	1,888	1,889	1,853	1,853	1,829
欧州	3,461	3,485	3,461	3,481	3,530	3,539	3,485
米州	2,281	2,449	2,281	2,335	2,421	2,445	2,449
アジア・オセアニア ¹	5,891	6,765	5,891	6,656	6,744	6,762	6,765
合計	27,670	28,672	27,670	28,920	28,939	28,889	28,672

(1) インド(ボワイ・オフィス)を含む

Disclaimer

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2015年3月期通期ならびに第4四半期の業績に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料の一切の権利は別段の記載がない限り野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト(<http://www.nomura.com>)、EDINET(<http://info.edinet-fsa.go.jp/>)または米国証券取引委員会(SEC)ウェブサイト(<http://www.sec.gov>)に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

Morningstar Award "Fund of the Year 2014"は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として、モーニングスター独自の定量分析、定性分析に基づき、2014年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。

リッパー・ファンド・アワードに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。リッパー・ファンド・アワードは、過去のファンドのパフォーマンスを分析したものであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、リッパーが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

Nomura Holdings, Inc.
www.nomura.com/jp/